

# 自己点検・評価報告書

TOPA21世紀語学校

令和6年4月1日作成

## 【自己点検・評価の目的】

点検・評価項目は、出入国在留管理庁「日本語教育機関の告示基準解釈指針」をもとに定めた。

学校として教育水準の向上を図り、日本語教育機関の目的を達成するために、自ら点検及び評価を行う。

【評価】 各項目については、A～Dの四段階で評価する。

A:達成されている

B:ほぼ達成されているが、改善に取り組んでいる点がある

C:達成に向けて努力している

D:達成されていない／取り組みを検討している

【実施方法】 学校長・事務局長・教務主任が中心となり教職員と共に実施する。

## 自己点検・評価項目

### 1. 教育の理念・目標

#### 【教育理念】

世界との交流を目指し、一人でも多くの日本ファンを獲得するためには文化の基本事項である語学教育が第一歩と考える。

#### 【教育目標】

進学あるいは就職にしても基本は日本語能力であるため、それらに対応できる指導を行い、我が国の文化や習慣等もあわせて習得できるようにする。

項目番号	自己点検・評価項目	評価
1-1	理念・目標・育成する人材像が、社会のニーズに合致している。	A
1-2	理念・目標・育成する人材像が、教職員及び学生に周知されている。	A

現状・具体的な取り組み／課題

--

## 2. 学校運営

項目番号	自己点検・評価項目	評価
2-1	日本語教育機関の告示基準に適合した学校運営ができています。	A
2-2	理念、目標に沿った運営方針や事業計画が定められている。	A
2-3	管理運営の諸規程が整備され、規程に基づいた運営が行われている。	A
2-4	授業や運営に関する学生からの相談、苦情等について、適切に対処している。	A
2-5	業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的かつ組織的に行われている	B
2-6	外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ共有化する仕組みがある。	A

### 現状・具体的な取り組み／課題

2-5:教務と事務はそれぞれが効率的に業務を行えるよう課題を見つけ、定期的を実施している会議にて提案している。提案事項に関しては担当を決め、より良い運営につながるよう改善策を模索している。

## 3. 教育活動

項目番号	自己点検・評価項目	評価
3-1	理念・教育目標に合致したコース設定をしている。	A
3-2	教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成している。	A
3-3	国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にし、レベル設定をしている。	B
3-4	教育目標に合致した教材を選定している。	A
3-5	補助教材、生教材を使用する場合は著作権法に留意している。	A
3-6	教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	A
3-7	教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。	A
3-8	校長、主任教員、専任教員、非常勤教員の職務内容および権限を明確に定めている。	A
3-9	教員及び職員の研修等により教育の質および支援力強化のための取組をしている。	B
3-10	教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修等の取組を行っている。	B
3-11	教員および職員の評価を適切に行っている。	A

現状・具体的な取り組み／課題

<p>3-3:設定されているレベルに対し、熟達度の枠組がどのように対応しているが客観的にわかるよう教務内で検討している。</p> <p>3-9:登録日本語教員の申請を機に勉強会の実施および外部の研修会への参加により、教育の質および支援力強化の取り組みを図ることを検討している。</p> <p>3-10:研修等は行っていない。</p>
--

4. 学習成果

項目番号	自己点検・評価項目	評価
4-1	授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	A
4-2	教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴、その他指導に必要な情報を伝達している。	A
4-3	授業記録および出席簿を備え、正確に記録している。	A
4-4	学生の理解度・到達度の確認を実施期間中に適切に行っている。	A
4-5	成績の判定基準及び判定方法が明確であり、教職員間で共有されている。	A
4-6	教員は基準に沿って適切に実施している。	A
4-7	成績判定結果を的確に学生に伝えている。	A
4-8	成績判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。	B
4-9	教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組を行っている。	B
4-10	入学から卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。	A
4-11	卒業判定を適切に行っている。	A
4-12	卒業後の進路を把握している。	A
4-13	日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	A

現状・具体的な取り組み／課題

<p>4-8:年度末に1年間の振り返りとともに成績判定基準及び判定方法の妥当性について話、具体的な変更点については検討中である。</p> <p>4-9:テーマを決め講師の勉強会の開催を行っているが不定期開催の為、定期的な開催を目標としている。</p>
---

## 5. 学生支援

### 【日本での生活、健康管理、防災・緊急時における支援】

項目番号	自己点検・評価項目	評価
5-1	生活指導責任者が設定され、その職務内容および責任と権限を明確に定めている。	A
5-2	留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施している。	A
5-3	在学生に対し留学生活に関するオリエンテーションを定期的実施している。	B
5-4	住居支援を行っている。	A
5-5	アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	B
5-6	健康、衛生面について指導する体制を整えている。	A
5-7	学生全員が国民健康保険に加入している。	A
5-8	在学中における留学生保険の加入を勧めている。	A
5-9	重篤な疾病や傷害のあった場合の対応および感染症発生時の措置を定めている。	B
5-10	危機管理体制を整備し、交通事故や犯罪に巻き込まれた等の相談体制ができてきている。	B
5-11	火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定めている	B
5-12	避難訓練を定期的実施している。	C
5-13	気象警報が発令された際の措置を定め、教職員及び学生に周知している。	A

### 【進路に対する支援】

項目番号	自己点検・評価項目	評価
5-14	進路指導担当者を設定している	A
5-15	授業に関わる教員全員が学生の希望する進路を把握し、指導に反映されている	A
5-16	進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	A
5-17	入学時からの一貫した進路指導を行っている。	A

【入国・在留に関する支援】

項目番号	自己点検・評価項目	評価
5-18	入管事務担当者特定し、その職務内容および責任と権限を明確に定めている。	A
5-19	担当者は、研修受講等により適切な情報取得を継続的に行っている。	A
5-20	地方出入国在留管理局により認められた申請等取次者を配置している。	A
5-21	入管法上の留意点について学生に指導するなど、不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っている。	A

現状・具体的な取り組み／課題

<p>5-3: 学期始めに在校生を対象のオリエンテーションを実施。内容の充実を図っている。</p> <p>5-9、5-10、5-11: 教職員間での共有はできているがマニュアルがないため、作成を検討中。</p> <p>5-12: この数年は未実施だったが、実施に向けて検討中。</p> <p>5-13: 学校長及び教職員間での共有はされているが、マニュアルがないため、作成を検討中。</p> <p>5-17: 学生の日本語力によって理解に差が生まれる為、指導方法について改善が必要である。</p>
--

6. 教育環境

項目番号	自己点検・評価項目	評価
6-1	教室内は十分な照度があり換気がなされている。	A
6-2	語学教育を行うのに必要な遮音性が、全教室で確保されている。	A
6-3	授業時間外に自習できる部屋を確保している。	A
6-4	教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	A
6-5	視聴覚教材、IT を利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。	B
6-6	教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している。	A
6-7	同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設置している。	A
6-8	法令上必要な設備等を備えている。	A
6-9	廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。	A
6-10	校舎面積は「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合している。	A
6-11	教室、その他の施設は「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合している。	A

現状・具体的な取り組み／課題

6-5:一部の教室を除きインターネット環境が整備されていない為、全教室に導入するよう検討中。

7. 入学者の募集

項目番号	自己点検・評価項目	評価
7-1	理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定めている。	A
7-2	入学志願者に対し、適切な情報提供や入学相談を行っている。	A
7-3	募集代理人に正確な情報提供を行い、募集が適切に行われていることを把握している。	A
7-4	入学選考基準および方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	A
7-5	学生情報を正確に把握し、提出された資料等により確認を行っている。	A
7-6	入学志願者の学習ニーズとコースの教育内容が合致することを確認している。	A
7-7	入学金、授業料、その他納付金の金額および納付時期が明示されている。	A
7-8	納付金以外に入学後必要になる費用が明示されている。	B
7-9	関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されている。	A

現状・具体的な取り組み／課題

7-8:納付金以外に入学後必要になる費用の説明は行っているが、明確な金額を掲載した資料を作成中。また、どこまでの費用を周知させるかは検討中。

8. 財務

項目番号	自己点検・評価項目	評価
8-1	財務状況は中長期的に安定している。	A
8-2	予算・収支計画の有効性および妥当性が保たれている。	A
8-3	予算編成が適切になされ、執行ルールが明確である。	A
8-4	適正な会計監査が実施されている。	A

現状・具体的な取り組み／課題

--

## 9. 法令遵守

項目番号	自己点検・評価項目	評価
9-1	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている。	A
9-2	個人情報保護のための対策を行っている。	A
9-3	関係省庁への届出、報告を遅滞なく行っている。	A

現状・具体的な取り組み／課題

--

## 10. 地域貢献・社会貢献

項目番号	自己点検・評価項目	評価
10-1	日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。	B
10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援している。	A

現状・具体的な取り組み／課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の校外活動の一環として学校近辺の清掃活動を実施している。</li> <li>・地域のお祭りである高円寺阿波踊りや地域の祭りへの参加。</li> <li>・高円寺氷川神社(気候神社)への協賛</li> <li>・杉並区国際交流協会から紹介されるボランティア活動や弁論大会に積極的に参加。</li> <li>・東京都 都民安全推進部 都民安全課が主催する「子供の見守りボランティア」活動への参加。</li> </ul> <p>10-1:本校は杉並区高円寺にて30年間日本語学校を運営している。その中で留学生たちへの日本語教育だけではなく、日本文化の教育も大切なことだと認識し、地域との交流を積極的に取り入れている。</p>
---